

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

くわいの相
お気軽に

森下 由美市議(981)8331
松島規久男市議(983)2987
巖 博市議(982)9663
山本 邦夫市議(982)8844
亀田 優子市議(982)1277

2013.9.1 No.535 連絡先 日本共産党八幡市議会議員団 (983)2005

市議会ホームページ<http://park19.wakwak.com/~jcp-ywta/> メール jcp-ywta@am.wakwak.com

京都府
八幡市
の
要
望
書
への

小児救急体制 最重点要望のトップに 中学校給食、介護保険負担軽減、男山再生など 市民の願いを一部反映

八幡市は、京都府の来年度予算に対する要望の中で、日本共産党と市民が粘り強く求めてきた休日・夜間の小児救急体制の整備を最重点要望のトップに位置付けていることが明らかにになりました。

八幡市の要望書は、小児救急体制について、山城北医療圏では宇治、京田辺市の2病院で当直体制が組まれているが、「地域医療連携のもと、八幡市内の病院も当番病院になるよう」要望。医師の確保を含め市内の小児救急体制の強化を求めています。

市としての最重点要望は4項目で、男山地域再生もその一つ。再生計画づくりに対する人的支援のほか、分譲マンション建て替えに対する財政支援などを求めています。

重点要望は39項目。その中で、市民の切実な願い、運動を反映したのものとして、中学校給食の導入促進のための補助金制度の創設も盛り込まれました。京都市を除く府内では中学校給食実施率は40%を割る状況にあり、府に

よる補助制度がないことが大きく影響しています。市の要望は、その点を改善し、中学校給食に対する府の補助金創設を求めています。

そのほか、介護保険の低所得者に対する保険料、利用料負担の軽減にむけた国費による対策の実施、子育て支援医療の対象者を入院、通院とも義務教育終了までの拡大を求めています。

保育園の耐震、障害者支援…

民間保育園の耐震補強について、宗教法人の場合も助成対象とすること、障害者の地域生活支援事業の財源確保も求めています。

教育分野では、学校の各種教員の配置の拡充、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置のための支援を求めています。

市の要望書には、新名神高速道路建設に伴う周辺整備など、地域の防災、安全と矛盾するものも含まれていますが、市民の暮らしの願いを実現する運動をさらに広げて、国や府に対する働きかけを強めていくことが大切です。

倉林参院議員あいさつ 市民の運動で悪政はね返そう 党市議団が要求運動懇談会



日本共産党八幡市議会議員団は22日、高齢者・子育て・教育、中小業者など、市内各分野で要求運動に取り組んでいる団体との懇談会を開催し、参院選後の新しい情勢の下で、秋に向けての運動の発展強化を呼びかけました。倉林明子・新参院議員もあいさつし、願い実現への決意を述べました。